



邑楽町立邑楽南中学校 学校だより

おうなん

令和3年1月15日(金)

発行 邑楽南中学校

第19号

mail:oramijh@muse.ocn.ne.jp



書き初めが新年らしさを演出 30名の金賞受賞者決定!



生徒の皆さん、保護者の皆様、新年明けましておめでとうございます。新年早々、新型コロナウイルス感染者数が記録を日々更新し、「緊急事態宣言」を出す都道府県が増えております。「今年こそよい年を」と願った途端に心が折れそうになってしまう状況ですが、心配していた3年生の私立入試は予定通り実施できており、その点ではほっと胸をなで下ろしています。

学校では3学期が始まり、校内書き初め展が開催され、廊下では冬休みの宿題であった書き初めが風に揺れて新年らしさを演出しています。1年生は「友と語る」、2年生は「夢の実現」、3年生は「旅立ちの春」が課題の言葉でした。担当学年の職員で、1月8日(金)に審査を行い、全校で30名が金賞となりました。

<1年生>

1組 ○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
2組 ○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
3組 ○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○



<2年生>

1組 ○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
2組 ○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○



<3年生>

1組 ○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
2組 ○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○
○○ ○○



短い期間でしたが、お世話になりました!



木村晴美先生



遠藤美紗子先生

年度の途中ですが、教職員の異動がありました。学校事務担当の木村晴美先生が11月13日付けで、1年生の学習指導助手の遠藤美紗子先生が12月31日付けで本校を異動になり、お二人とも縁あって隣の長柄小学校勤務となりました。

本校在職中は、大変お世話になりました。長柄小学校でもお力を大いに発揮し、活躍されることを願っております。



先生たちも ICT を勉強中です



「GIGA スクール構想」が、全国の学校で進められています。

子供一人ひとりに1端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する事業です。邑楽町でも、その環境を整えていて、12月末には全クラスに電子黒板と教員に1台タブレット端末が用意されました。

1月7日(木)の3学期始業式の日の午後、生徒は部活動中止だったために、給食後自転車点検をして放課でした。その後、各学年ごとに教職員が分かれ、電子黒板の研修会を行いました。2月には校内のネットワークが整備されます。そして、今年度末には生徒一人に1端末が配布される予定です。電子黒板や端末でどんな授業ができるのか、先生たちも日々勉強です。電子黒板や端末を生かしたよりよい授業づくりのために、今後も研修していく予定です。



電子黒板を立ち上げ、ホーム画面を囲むチーム1年生



端末の画像が電子黒板に写る方法を知るチーム2年生



電子黒板に付属する資料の使い方を考えるチーム3年生

思春期の子ども理解(13)

今年は初夢を見ましたか。夢には大きく分けて2つ、眠る時に見る夢と実現させたいと思う夢があります。

小学生の頃までは、「〇〇になりたい」と大きな声で夢を語りましたが、中学生になると「夢はありません」と答える生徒が多くなります。それは、成長によって自分を俯瞰(ふかん)して見ることができ、自分の実力で実現可能か否かを判断できるようになるからです。「僕/私の実力では〇〇になれない」と考え、適性等が不足していると判断し、違う夢を見つけることが必要な場合もあります。それができるのも成長したからです。

しかし、夢を叶える人もいます。それは、最後まで諦めずに頑張った人です。諦めることは「無理!」と一瞬で簡単にできます。でも、諦めずに頑張るのはしんどいです。がむしゃらに頑張ること、もしその夢が叶わなかったとしても、得られる学びがたくさんあります。

夢が見つからない人は、何をやるのが好きで何が得意なのか、自分のことをよく見つめてみましょう。そして、夢は生きる原動力となるので、早く次の夢を見つけましょう。

私の初夢は大声で部活が何かの行事を応援する夢でした。早く叶いますように!



生徒たちの笑顔に 何度も元気づけられます

年末年始と三連休があり、自粛のため外出もできず家で過ごすことが多かったのですが、テレビも新型コロナウイルスの猛威を報道するばかりで、気持ちが下向きのまま学校にきました。

生徒玄関で生徒を出迎えていると、笑顔で本当に気持ちよくあいさつをしてくれます。こんなコロナ禍でも、明るいあいさつをしてくれる生徒たちに何度も元気づけられる日々です。

3年生の中には、受験をした次の日の生徒も、その日が受験の発表日でドキドキしながら登校した生徒もいるのですが、みな笑顔であいさつしてくれます。

笑顔でいると、相手の気持ちを明るくするだけでなく本人の気持ちもよくなるので人間関係がよくなりますし、ナチュラルキラー細胞という免疫細胞を活性化させ、免疫力も高まります。脳内において「セロトニン」等の脳内麻薬物質が多く分泌されます。これは別名「幸せホルモン」ともいわれ、幸せな気持ちをもたらします。コロナ禍こそ、笑顔でいることが大切なようです。

